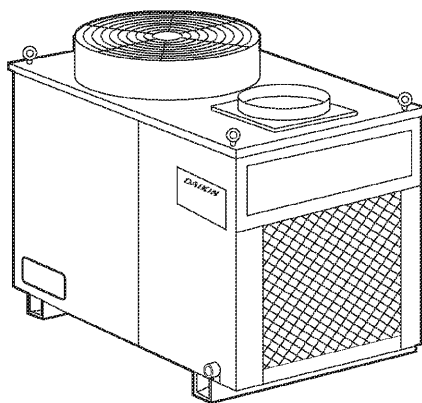




取扱説明書

スポットエアコン クリスプ

〈クリスプ《一体形》〉



掲載機種

SUKDP3AU
SUKDP5AU

- このたびは弊社製品をお買上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
お読みになったあと、いつでもご覧になれるよう、お手元に保管してください。
- 保証書はお買上げの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

ご使用の前に	
安全について	
必ず守ってください	1
各部の名前と働き	4

ご使用の前に

運転について	
運転のしかた	5
上手な使いかた	6

運転について

お手入れについて	
お手入れのしかた	
日常のお手入れ	7
シーズン始め・終わりのお手入れ	8
エアコンのメンテナンス(サービスマン用)	9

お手入れについて

知っておいてください	
調子がおかしいときは	10
別売品について	12
アフターサービスと保証について	13
お客様ご相談窓口	裏表紙

知っておいてください

上手に使って上手に節電

安全について

必ず守ってください

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

- ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠ 注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性または物的損害の可能性のあるもの。 状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

- 本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		絶対に水にぬらさないでください。		必ずアース工事をしてください。
	絶対にぬれた手で触れないでください。		必ず指示どおりに行ってください。		

⚠ 警告 使用上の注意事項

- | | | | |
|--|---|---|---|
| ●長時間冷風を体に直接当てない、
冷やし過ぎない
体調悪化・健康障害の原因になります。 |  | ●可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は
本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。 |  |
| ●吸込口や吹出口に指や棒などを入れない
ファンが高速で回転しており、
けがの原因になります。 |  | ●電源ブレーカーによるエアコンの運転や
停止をしない
火災や水もれの原因になります。 |  |
| ●分解や修理をしない
故障や水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。 |  | ●ヒューズ付負荷開閉器を使用の場合、
正しい容量のヒューズ以外は使用しない
針金などを使用すると
故障や火災の原因になります。 |  |
| ●改造は絶対にしない
事故の原因になります。
改造による故障は、保証期間内でも
有料修理になります。 |  | ●バーナーの炎、溶接やグラインダー作業の
火の粉など、火気のある場所の近くでは
使用しない
引火や本体への付着により発火や
発煙の原因になります。 |  |
| ●調理用油や機械油など油成分が
浮遊している場所では使用しない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。 |  | ●異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して
電源ブレーカーをしゃ断する
異常のまま運転を続けると、故障や
感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。 |  |
| ●調理室など油煙の多いところ、または
可燃性ガス・腐食性ガスや金属性の
ホコリのある場所では使用しない
火災や故障の原因になります。 |  | ●電気工事が必要な場合は、
お買上げの販売店に依頼する
配線などに不備があると、
漏電・火災の原因になります。 |  |
| ●冷媒がもれたら火気厳禁
エアコンに使用されている冷媒は安全で、
通常もれることはありませんが、
万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・
ストーブ・コンロなどの火気にふれると
有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、
お買上げの販売店にご連絡ください。
冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が
確実に行われたことをサービスマンに
確認のうえ、運転してください。 |  | ●洪水・台風など天災でエアコンが水没したときは、
お買上げの販売店に相談する
運転をすると、故障や感電・火災などの
原因になります。 |  |
| | | ●エアコン内部の洗浄はお客様自身で行わず、
必ずお買上げの販売店に依頼する
誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、
樹脂部分が破損したり水もれなどの原因に
なります。
また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかる
と故障や発煙・発火の原因になります。 |  |

⚠️ 注意 使用上の注意事項

● 特しゅ用途には使用しない

精密機器・食品・美術品などの保存、
動植物の飼育や栽培など、
特しゅ用途に使用すると、
対象物の性能・品質・寿命に悪影響を
およぼすことがあります。



禁止

● 長期使用などで傷んだままの取付金具などを 使用しない

傷んだ状態で放置するとユニットの落下に
つながり、けがなどの原因になることが
あります。



禁止

● エアコンの上に乗ったり、物を載せたりしない

落下・転倒などにより、けがの原因に
なることがあります。



禁止

● エアコンの真下や近くにぬれて困るものは 置かない

運転条件によっては、本体や冷媒配管への
結露・エアフィルターの汚れ・
ドレン出口の詰まりで水が滴下し、
家財などをぬらす原因になることがあります。



禁止

● 吹出ダクトの方向変換は、たたいたり 強く曲げたりしない

脱落し、けがの原因になることがあります。



禁止

● エアコンの風が直接当たるところで 燃焼器具を使わない

燃焼器具の不完全燃焼の原因になることが
あります。



禁止

● エアコンの近くで暖房器具を使わない

暖房器具の熱により吸込グリルなどが
変形することがあります。



禁止

● 動植物に直接風を当てない

動植物に悪影響をおよぼす原因になることが
あります。



禁止

● 吹出口の近くにスプレー缶などを置かない

エアコンからの温風により
スプレー缶などが爆発するおそれがあります。



禁止

● 本体やリモコンで遊ばせない

誤った操作による体調悪化や健康障害の
原因になることがあります。



禁止

● エアコンの吸込口やアルミフィンにさわらない

けがの原因になることがあります。



禁止

● エアコンの吹出口を取り外さない

高速で回転するファンにより、
けがの原因になることがあります。



禁止

● 吸込口や吹出口をふさがない

能力低下や水もれ・故障の原因になることが
あります。



禁止

● 傾斜部や凸凹部に設置しない

転倒によるけがや水もれの原因になることが
あります。
必ず水平な場所に設置してください。



禁止

● リモコンは絶対に分解しない

内部を手で触れると感電や故障の原因に
なることがあります。
内部の点検はお買上げの販売店に
ご依頼ください。



禁止

● エアコンの周辺に、物を置いたり、 落ち葉をためない

落ち葉などから侵入した小動物が、
内部の電気部品に触れると、
故障や発煙・発火の原因になることがあります。



禁止

● ぬれた手で操作しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

● エアコンを水洗いしない

漏電によって感電や火災の原因になることが
あります。



水ぬれ禁止

● エアコンの上に花びん・植木鉢など、 水の入った容器を置かない

内部に水が浸入して感電や火災の原因に
なることがあります。



水ぬれ禁止

● お手入れのときは必ず運転を停止し

電源ブレーカーをしゃ断する
電源をしゃ断しないと、感電やけがの原因に
なることがあります。



● 長時間使用しないときは、

電源ブレーカーをしゃ断する
ホコリがたまって発熱・発火の原因に
なることがあります。



● 高所作業をするときは足場に気をつける

足場が不安定な場合、落下・転倒により
けがの原因になることがあります。



⚠ 警告 据付上の注意事項

●据付工事は、自分でしない

据付けに不備があると、故障や水もれ・感電・火災の原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●別売品の取付けは、自分でしない

別売品は当社指定以外のものは使用しない
取付けに不備があると、故障や水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店または
コンタクトセンターにご依頼ください。
(裏表紙参照)



禁止

●移動・再設置は、自分でしない

木枠梱包なしでの輸送を行うと、部品が損傷するおそれがあります。
また、据付けに不備があると、故障や水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●アース工事を行う

アースが不完全な場合は、感電や火災の原因になります。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。



●漏電しゃ断器を取り付ける

取り付けないと感電や火災の原因になります。



●電源は必ずエアコン専用の電源を使用する

専用以外の電源を使用すると発熱・火災・故障の原因になります。



●冷媒もれ対策は、販売店に相談する

万一、冷媒がもれて限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。
小部屋に据え付ける場合は、冷媒がもれても限界濃度を超えないように対策する必要があります。



⚠ 注意 据付上の注意事項

●可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは設置しない

万一、ガスがもれてユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。



禁止

●リモコンスイッチは、水のかかるおそれのある場所に設置しない

水が機器の内部に入ると、感電のおそれがあるほか、内部の電子部品が故障する原因になることがあります。



水ぬれ禁止

●ドレン配管は、確実に排水するように施工する

不備があると、屋内に水もれし、汚れや故障の原因になることがあります。



●運転可能電圧は定格電圧の±10%以内にする

定格電圧200V：180～220V
(始動時の電圧降下を含めた値)
この範囲をこえると正常に運転できなくなることがあります。



据付場所について

●まわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか？

●次のような場所では使用しないでください。

- 切削油など鉱物油の立ち込めるところ
- 調理場など油の飛沫や蒸気の多いところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
- 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
- 導電性粉じんの多いところ
- 電圧変動の多いところ
- 車両・船舶への搭載など
- 電磁波を発生する機械のあるところ

●防雪対策されていますか？

詳細はお買上げの販売店へご相談ください。

電気工事について

●電気工事・D種接地工事の施工には資格が必要です。

お買上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさないでください。

●エアコン専用の回路をご使用ですか？

運転音にもご配慮を

●次のような場所を選んでいませんか？

- エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ
- 吹出口からの風や運転音が近隣の迷惑にならないようなところ

●エアコンの吹出口近くに障害物はありませんか？

風量低下による機能低下や運転音増大・機器の故障の原因になります。

●使用中に異常音がする場合はお買上げの販売店にご相談ください。

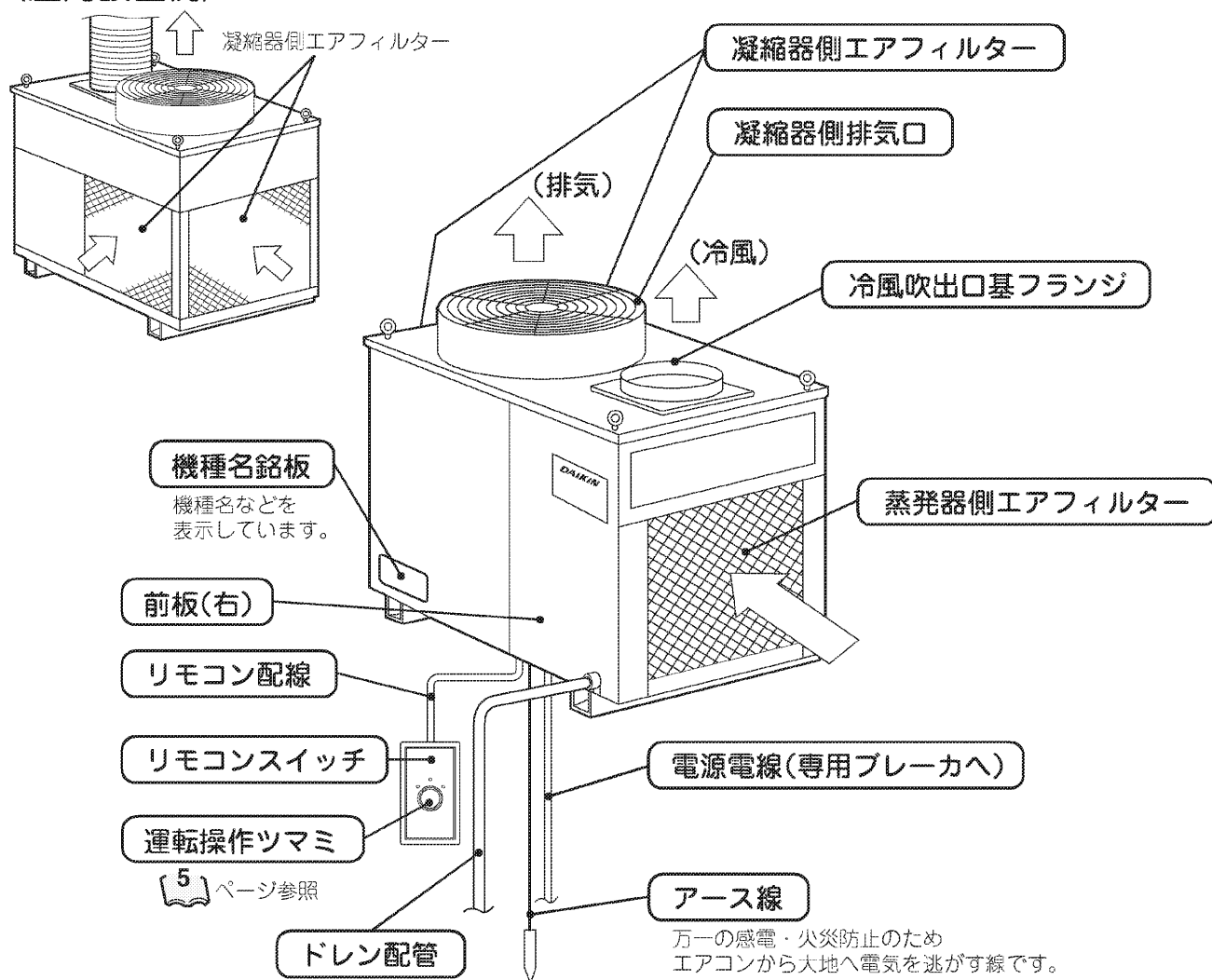
ドレン配管の排水について

●ドレン配管は確実に排水するよう施工されていますか？

冷房運転時、ドレン配管から排水されていない場合は、ドレン配管内でゴミ・ホコリなどが詰まり、ユニットから水がもれる原因になることがあります。
冷房運転を停止して、お買上げの販売店にご相談ください。

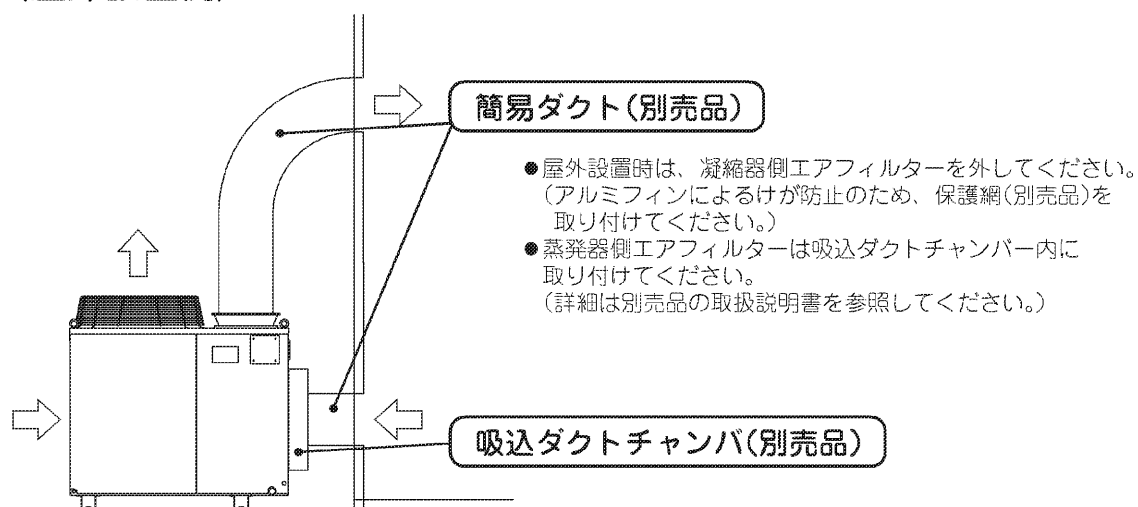
各部の名前と働き

〈屋内設置例〉



1 使用前の準備

〈屋外設置例〉

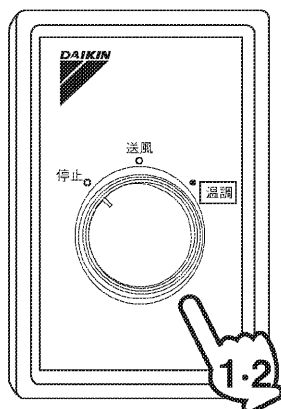


〈天吊り設置の場合〉

据付方法の詳細は、据付説明書をご覧ください。

運転のしかた

冷房・送風運転のしかた



1

運転操作ツマミを
送風にします。
(圧縮機は運転しません)

●送風運転の操作はここまでです。

2

運転操作ツマミを
温調にします。
冷房運転を開始します。
(圧縮機が運転を始めます)

停止

運転操作ツマミを
停止にします。
運転を停止します。
(圧縮機も停止します)

運転可能温度範囲

機 種 名	蒸発器・凝縮器 吸込空気温度
SUKDP3AU SUKDP5AU	25～48℃

上記温度範囲より低い温度では蒸発器の凍結防止機能が働き、運転が停止することがあります。

圧縮機保護のため、使用範囲内で使用してください。
(送風運転の場合は上記温度範囲外でも運転可能です。)

※45℃以上で使用する場合は最大風量値が下がります。

詳細は技術資料を参照してください。

お願い

●運転停止後、再運転する場合は、圧縮機保護のため
3分以上たってから運転してください。
(圧縮機は1度停止すると、3分間は動きません。)

●運転中に停電したときは、運転操作ツマミを
停止に戻し、復電後再運転してください。

運転の内容と働き

温調(冷房)

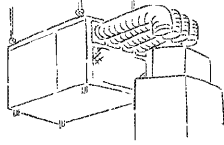
圧縮機を運転しスポット冷風を吹き出します。

送風

空気を循環させます。

●吹出口・吸込口の近くに
ものを置くのをやめましょう

能力が低下または運転が停止することがあります。

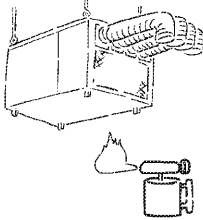


禁止



●発熱体の近くに、エアコンを置くのは
やめましょう

周囲の温度が高くなりすぎると
冷えが悪くなります。



禁止



●屋内での使用時は、窓や扉を開けましょう

締め切った場所では凝縮器からの排気により、
室温が上昇します。



●テレビ・ラジオ・ステレオなどは
エアコンおよびその電源配線・
リモコン配線から1m以上離しましょう

映像が乱れたり、雑音が入ることがあります。

●屋外設置時は別売の吸込口チャンバを
使用して屋内の空気を吸込むように
してください

高い温度の外気を吸込むと
冷えが悪くなります。



●屋外設置時は直射日光が当たらない場所に
設置しましょう

機器内の温度が上昇し、冷えが悪くなります。



●エアフィルターはこまめに清掃しましょう
2週間に1回が目安です

汚れたまま運転すると
能力の低下・水もれまたは故障の原因に
なります。

 ページ参照



お手入れのしかた

⚠ 警告

- 可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーでリモコンスイッチをふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。



⚠ 注意

- エアコンを水洗いしない
漏電によって感電や
火災の原因になる
ことがあります。



水ぬれ禁止

- お手入れのときは必ず運転を
停止し電源ブレーカーを
しゃ断する
電源をしゃ断しないと、
感電やけがの原因に
なることがあります。



- 高所作業をするときは
足場に気をつける
足場が不安定な場合、
落下・転倒により
けがの原因になることが
あります。



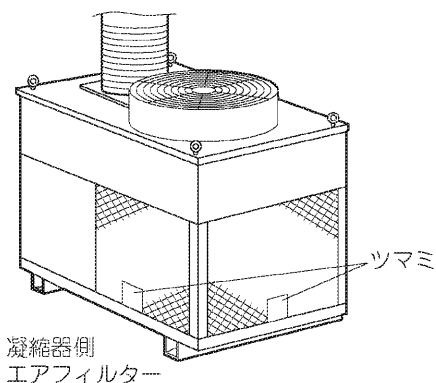
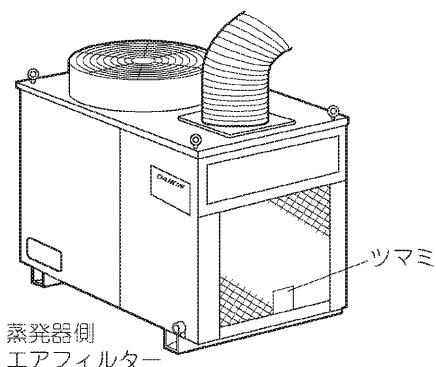
お願い

- 清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。
フィンの目詰まりによる故障や接触によるけがの原因になることがあります。
- 吸込口に正規のエアフィルター以外のもの(キッチンペーパーなど)を取り付けしないでください。
性能が低下し、凍結・水もれの原因になることがあります。
- 屋外設置時は、凝縮器側エアフィルターを外してご使用ください。

日常のお手入れ

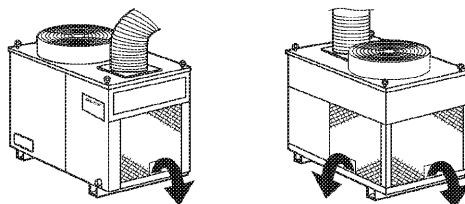
エアフィルターの清掃のしかた

- 汚れのひどいところでご使用になる場合は
1週間に1回清掃してください。
通常は2週間に1回が目安です。
- エアフィルターは、蒸発器側に1枚と
凝縮器側に2枚あります。



1. エアフィルターを取り出します。

エアフィルターのツマミを少し持ち上げ、
下方へ引き抜いてください。



2. 清掃します。

取り出したエアフィルターは、清水がぬるま湯で
洗ってください。

汚れがひどい場合、
柔らかいブラシや
中性洗剤を使って
洗ってください。



お願い

- 50℃以上のお湯で洗わないでください。
変色や変形の原因になることがあります。
- 乾燥させる場合は火であぶらないでください。
燃える原因になることがあります。
- 長時間、直射日光に当てないでください。
縮むことがあります。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・
市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。
変色や変形の原因になることがあります。

3. エアフィルターを取り付けます。

1.と逆の手順で取り付けてください。

外装(本体・リモコンスイッチ・ダクト)の清掃のしかた

- 柔らかい布でからぶきしてください。

- 汚れがとれないときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞り汚れをふき取ったあと、乾いた布でからぶきしてください。

お願い

- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色・変形やひび割れの原因になることがあります。
- 50℃以上のお湯を使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。

シーズン始め・終わりのお手入れ

シーズン始め

確認してください。

- エアコンのまわりに障害物はありませんか？
障害物がある場合は取り除いてください。
障害物の影響で風量低下による能力低下や水もれ・機器の故障につながります。

エアフィルターと外装を清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。

清掃のしかたは  7,8 ページ参照。

電源ブレーカーを入れてください。

シーズン終わり

晴れた日に半日ほど送風運転をし、内部をよく乾燥させてください。

- カビなどの発生を防止するためです。

送風運転のしかたは  5 ページ参照。

電源ブレーカーをしゃ断してください。

エアフィルターと外装を清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。

清掃のしかたは  7,8 ページ参照。

エアコンのメンテナンス(サービスマン用)

⚠注意

- ここから記載しているメンテナンス作業はお客様自身で行わないでください
けがや機器の損傷の原因になることがあります。



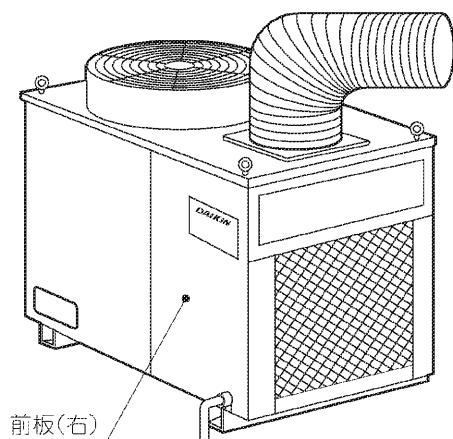
ドレンパンの清掃のしかた

シーズン終わりには必ず清掃してください。

- ドレンパンのドレン出口がつまると、蒸発器で凝縮した水分があふれ、エアコンから水がもれることがあります。

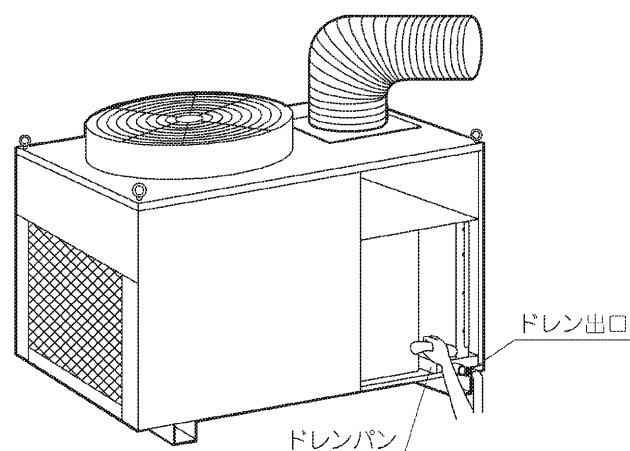
1.前板(右)を取り外します。

(SUKDP3AU ねじ 8ヵ所)
(SUKDP5AU ねじ11ヵ所)



2.清掃します。

- ドレン出口に付着しているホコリやゴミをぬれた布などでふき取ってください。
- 清掃後、ドレンパンに水を流して、ドレン出口につまりのないことを確認してください。



3.前板(右)を取り付けます。

主回路配線用ヒューズについて(サービスマン用)

⚠注意

電気品箱内に設置された主回路配線用ヒューズ(F1U～F3U)は、万一圧縮機が故障したときでも安全に停止させるために設置しています。

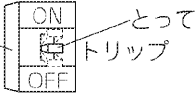
このため、ヒューズの定格電流が機外分岐過電流しゃ断器の定格電流より大きい値になっています。

このヒューズが溶断したときには圧縮機の交換が必要です。

(主回路配線用ヒューズ(F1U～F3U)の取付位置は、電気品箱ふたの裏面に貼ってある配線図をご覧ください。)

調子がおかしいときは

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
まったく 運転しない	電源ブレーカーのところがOFF位置またはトリップ位置になっていませんか？ 	●電源ブレーカーのところがOFF位置の場合は、電源を入れてください。 ●電源ブレーカーのところがトリップ位置の場合は、電源を入れないで販売店にご連絡ください。
	停電ではありませんか？	停電復帰後、運転操作ツマミを「停止」に戻し、再運転してください。（3分以上の停止が必要です。）
	ヒューズ付負荷開閉器のヒューズが切れていませんか？	ヒューズを確認し、ヒューズが切れている場合は、お買上げの販売店にご連絡ください。
運転するが すぐに止まる	吹出口・吸込口の近くにものを置いていませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰まりしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。  ページ参照
	凝縮器にゴミやホコリが詰まっていますか？	お買上げの販売店にご相談ください。
	周囲温度が高すぎませんか？	風通しを良くするなどして、連続運転可能範囲内でご使用ください。  ページ参照
	風量が少なすぎませんか？	ダンパーを開めすぎて風量が少なすぎると蒸発器の凍結防止機能が働き、運転が停止することがあります。風量範囲内でご使用ください。
	風量が多すぎませんか？	ダクトにおける機外静圧が低すぎるときに、ファン用過電流継電器が作動する場合があります。詳細は、お買上げの販売店にご相談ください。
よく冷えない	吹出口をふさいだり、吸込口の近くにものを置いたりしていませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰まりしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。  ページ参照
	周囲温度が高すぎませんか？	風通しを良くするなどして、連続運転可能範囲内でご使用ください。  ページ参照
	周囲温度が低すぎませんか？	周囲温度が低すぎたり、エアフィルターが目詰まりしていると蒸発器の凍結防止機能が働き、運転が停止することがあります。連続運転可能範囲内でご使用ください。
	蒸発器にゴミやホコリが詰まっていますか？	熱交換器の洗浄が必要な場合がありますので、お買上げの販売店にご相談ください。
	連続運転可能範囲内で使用していますか？	吸込温度が高いと吹出空気温度も高くなるため、冷風感が少なくなります。
エアコンから 水がもれる	ドレン出口が詰まっていますか？	清掃を依頼してください。  ページ参照

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理しないで、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにご連絡ください。

このとき、症状と機種名をお知らせください。

（機種名は製品外板下方に取り付けている機種名銘板に記載しています。（ ページ参照））

次の場合は、故障ではありません。

症状		原因
白い霧が出る	冷房時、湿度が高いとき (油分やホコリの多い場所)	エアコン内部の汚れがひどい場合に、温度ムラが生じるためです。(注1)
音が出る	冷房運転スタート時の「ジー」という連続音	冷房運転したときの圧縮機の音です。 しばらくすると消えます。
	運転停止後の「シュルシュル」という音	ガス(冷媒)の流れが止まる音または流れが変わる音です。
ホコリが出る	長時間運転停止後、ふたたび運転を 始めるとき	エアコン内部に付着したホコリが吹き出るためです。
ニオイが出る	運転中	部屋のニオイ・たばこのニオイなどがエアコン内部で 吸着されて吹き出すためです。(注2)

注1. エアコンの内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですのでお買上げの販売店にご依頼ください。
2. ニオイの原因となるものを吸込口から離してください。

次の場合は販売店へご連絡ください。

⚠ 警告

●異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源ブレーカーをしゃ断する

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。



症状	次の処置をしてから連絡を
電源ヒューズ・電源ブレーカー・漏電しゃ断器などの 安全装置が作動する。	電源をしゃ断してください。
リモコンスイッチの作動が不確実。	電源をしゃ断してください。

別売品について

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。
ご入用のときには弊社純正品とご指定ください。詳細はお買上げの販売店にお問合せください。

警告

●別売品の取付工事は、自分でしない 別売品は当社指定以外のものは使用しない

取付けに不備があると、故障や水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。
(裏表紙参照)



- 延長ダクト 風向を自由に変えることができます。
- 防露テープ ダクト表面に巻くと、水滴発生が防止できます。
- 自動首振ユニット 延長ダクトの先端に取り付けると、吹出ダクトが自動で首振りし、スポット冷房ゾーンを拡大することができます。
- オートスイング吹出口 風向が自動で変わり、広い範囲に冷風吹出しができます。
- ワイド吹出口 冷風の広がりを調整できます。
- 移動キャスター 製品を容易に移動させることができます。
- 個別ダクトキット 製品から直接個別ダクト(φ125用)を接続することができます。
- 吸込ダクトチャンバ 屋外設置時に吸込ダクトを接続するのに使います。
- 簡易ダクト 屋外設置時の吸込・吹出のダクトです。
- 交換用フィルター 標準装備のエアフィルターの交換用です。
- 中性能フィルター ホコリの多い場所で使用してください。
(凝縮器側用は屋外設置時に使用できません。)
- 保護網 屋外設置時に凝縮器側エアフィルターの代わりに取り付けてください。
(アルミフィンによるけがを防止するためです)

アフターサービスと保証について

アフターサービスについて

警告

●分解や改造・修理をしない

故障や水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、故障や水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●冷媒がもれたら火気厳禁

エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。



禁止

フロンについて

R407C冷媒

本機にはGWP（地球温暖化係数）が1770のフロン類が使用されています。
地球温暖化防止のため、修理・廃棄する場合にはフロン類の回収が必要です。



この表示はエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。

■修理を依頼されるときは次のことをお知らせください。

- 機種名
 - 製造番号と据付年月日
 - 故障状況 — できるだけ詳しく
 - ご住所・お名前・お電話番号
- 保証書に記載してあります。

■無料修理保証期間経過後の修理について

お買上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、このエアコンの補修用性能部品を製造打ち切り後9年間保有しています。

■保守点検契約のおすすめ

エアコンを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能低下や水もれの原因になることがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。

■点検と保全周期の目安について

【保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

表1は次の使用条件が前提となります。

- ①ひんばんな運転・停止のない、通常のご使用状態であること。
(機種により異なりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
- ②製品の運転時間は、10時間/日、1500時間/年としています。

●表1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検 周期	保全周期 〔交換または修理〕	主要部品名	点検 周期	保全周期 〔交換または修理〕
圧縮機	1 年	20,000時間	センサー(サーミスタなど)	1 年	5 年
電動機(ファンなど)		20,000時間	スイッチ類		25,000時間
プリント基板類		25,000時間	ファン		室外設置時：10年 室内設置時：13年
熱交換器(蒸発器・凝縮器)		5 年			

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。

注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。
適切な保全設計(保守点検費用の予算化など)のためにお役立てください。

また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。

注3. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件(運転時間が長い、運転・停止ひん度が高いなど)や使用環境(高温、多湿など)がきびしくなると短縮する必要があります。

詳細は、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

■消耗部品の交換周期目安について

[交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表2. 「交換周期」の一覧

主要部品名	点検 周期	交換周期	主要部品名	点検 周期	交換周期
エアフィルター	1 年	5 年	ヒューズ	1 年	10年

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。

注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。
適切な保全設計(部品交換費用の予算化など)のためにお役立てください。

詳細は、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となることがありますので
ご注意ください。

■移設および廃棄などについて

転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの販売店または
コンタクトセンターにご相談ください。

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

●この製品を廃棄またはリサイクル(部品や材料の再利用)する場合には「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・
書面管理が義務付けられています。

●この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が
義務付けられています。

いずれの場合も、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

●製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

保証書について

●この製品には保証書がついています。

保証書は、お買上げの販売店で所定事項を記入して
お渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、
エアコンを管理している方が大切に保管してください。

保証期間…据付日から1年

詳細は保証書をよくお読みください。

●保証期間内に無料修理を依頼されるときは、お買上げの
販売店またはコンタクトセンターにご連絡のうえ、
修理のときは「保証書」を必ずご提示ください。

ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であっても
サービス料をいただくことがありますので、
保証書は大切に保管してください。

お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問い合わせは下記の「ご購入店」へご連絡ください。

ご購入店名 TEL 据付年月日 年 月 日

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。

電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

コンタクトセンター (お客様総合窓口)

非通知設定の方は、最初に「186」をダイヤルしていただき、発信番号の通知をお願いしております。

 0120-88-1081 (全国共通フリーダイヤル)

FAXでのお問い合わせは 0120-07-0881 (FAX専用フリーダイヤル)

<http://www.daikincc.com> (ご相談対応ホームページ)

営業時間：24時間365日対応いたします。

対応業務：商品に関するすべてのご相談・お問い合わせをお受けいたします。

(修理、メンテナンス、取扱い、機種選定および別売品・消耗品・補用部品の販売など)

1205

ダイキン工業株式会社

本社 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル
郵便番号 530-8323

東京支社 東京都港区港南二丁目18番1号 JR品川イーストビル
郵便番号 108-0075

3P287335-1D M10A052D [1509] [FS]